

資料番号	地域 1
------	------

令和5年12月15日
課名 地域政策局都市圏魅力づくり推進課
担当者 政策監 水本
内線 2564

広島西飛行場跡地利用計画の進捗状況について

1 要旨・目的

広島西飛行場跡地利用計画（H29.3 広島県・広島市）に基づく取組状況等を報告する。

2 現状・背景（経緯）

広島西飛行場跡地の持つ高いポテンシャルを生かし、県・市の持続的な発展に資する複合的なまちづくりを民間活力も活用しながら進めることを目的に、平成29年3月に広島西飛行場跡地利用計画を県・市で策定している。

この計画において、跡地を「広域防災」、「スポーツ・レクリエーション」及び「新たな産業（雇用、にぎわい）」の各ゾーンに分け、その機能が相乗効果を発揮することを目指し、周辺の既存施設との連携を図るとともに、社会情勢の変化に対応しながら、跡地全体の機能を高める複合的なまちづくりを進めることとしている。

3 概要

（1）各ゾーンの進捗状況等

ア 雇用ゾーン

- 大和ハウス工業が「イノベーション型施設等の誘致」を目指し開発を進めているエリア。
- 北側（約9.4ha）は、令和元年5月に大和ハウス工業へ売却し開発工事が進められ、全6区画の企業誘致が令和5年1月に完了
- 南側（約7.9ha）は、令和3年4月に大和ハウス工業へ売却し開発工事が進められ、現在、同社が13区画に区分し企業誘致中（9区画契約済）

イ スポーツ・レクリエーションゾーン

ソフトボールや少年野球が同時に4面（サッカーは2面）確保できる多目的スポーツ広場を整備するエリア。

- 令和4年5月から工事着手し整備工事中
- 令和6年度末供用開始予定



ウ にぎわいゾーン

瀬戸内海を臨む美しい景観等を生かして、広域から人を呼び込み、「にぎわいと交流を創出する施設」を導入するエリア。

- 新型コロナウイルス等による社会情勢の変化や、西飛行場跡地及び周辺地域における各事業の進捗状況を踏まえ、継続的に民間ヒアリングを実施中

（2）都市基盤の整備状況

ア 基幹道路

- 令和元年9月に工事着手し、令和4年3月にヘリポート北交差点から運輸支局交差点までが4車線で完成済み
- 陸運支局交差点以南は、道路ネットワークの再検討検討結果を踏まえて整備予定

イ 河川側道路

- 令和4年3月に工事着手し、令和5年度中の完成に向け工事中

(3) 道路ネットワークの再検討

西飛行場跡地南端部に整備予定の南伸道路と接続道路については、にぎわいゾーンの活用方針を踏まえて整備時期を検討することとして未着手の状況となっているが、平成29年度の跡地利用計画策定から6年以上が経過し、周辺状況が大きく変化してきたことから、令和5年度に最適な道路ネットワークの再検討を行うこととしている。

現在、周辺エリアの活用や現FMP開発事業用地の状況等を踏まえ、交通処理検討を実施した上で、関係者調整を行いながら、具体的なネットワーク案の検討を実施している。

(4) 予算（単県）

令和5年度当初予算 210,500 千円

(5) 今後の対応

エリア全体として相乗効果が発揮されるような道路ネットワークへの見直しを行い、広島の新たな拠点として広島の魅力を広く発信できる跡地活用となるよう、引き続き、広島市と連携していく。

広島西飛行場跡地周辺エリアの状況(R5. 12時点)

